

小規模多機能型居宅介護サービス評価

2024年度

NPO法人 宅老所 心
小規模多機能型居宅介護事業所ころね

- ・事業所自己評価
- ・小規模多機能型居宅介護「サービス評価」
総括表



事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024年1月
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	山中 岸 井上 淡野 入本 丸山 橋内 太田 岩井 鈴木 山本（11名）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	3	6	2		11

前回の改善計画	
新規利用開始時前のミーティングで本人情報以外に家族関係などを聞き情報共有できるようにする	
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始前（申し込み時点）にスタッフ会議で情報提供できた。タイミングが合わない時はスタッフ回覧、夕礼で共有できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	4	6	1		11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	4	5	2		11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	4	7			11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	8			11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用前に本人の情報に目を通している 利用前にケアマネより必要なサービスについて説明を受け情報共有できている 信頼関係を築く為に訪問から関係づくりをしている 新規利用者に日中の活動の流れを説明している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
実際の関りでどのように支援していけばよいのか皆で共有はあまりできなかった ミーティングや夕礼の時間が取れない時があり共有できないことがある 統一した声かけ、支援ができていない 家族が求めているニーズまでは把握できていない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
時間が取れるときは夕礼等を行って情報共有を行う	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	2024年1月
-----	---------

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー	山中 岸 井上 淡野 入本 丸山 橋内 太田 岩井 鈴木 山本 （11名）
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	7	2		11

前回の改善計画	
意思表示が少ない方、自己決定が困難な方との積極的な関りをもち、知りえた情報をミーティング等で共有する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
意思表示が少ない方にも積極的に話かけることができた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		7	4		11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	4	6		11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	2	3	6		11
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	4	6		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケアプランを見て目標は把握できている 1対1で関われる時間に想いを聞きその人に寄り添えるようにしている 意思表示の少ない方に積極的に関り表情の変化を感じとれた 知り得た情報は皆で共有できるよう努めている 日々の関りやモニタリング時に自己実現について達成度を確認するよう心掛けた 本人の目標を知り思いに寄りそうようにしている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
1対1になれない方（訪問、入浴のない方）とはゆっくり話ができる機会が少なかった ケースに記入できていない 自分が感じたことをスタッフに伝えられていない 思いにより沿えているかわからない 漠然とした目標は解っているが個々の目標を理解しきれていない	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
スタッフ会議で時間を作り意思表示の少ない方について話をする	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024年1月	
3. 日常生活の支援	メンバー	山中 岸 井上 淡野 入本 丸山 橋内 太田 岩井 鈴木 山本 (11名)	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	7	2		11

前回の改善計画	特に自らの声を発信できない利用者と関りをもちミーティング等で共有していく
前回の改善計画に対する取組み結果	たくさんの支援が必要な方に目が向き、自らの発信できない方との関りが少なくなる

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1	2	8		11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	6	1		11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	2	7	2		11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	7			11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	4	6	1		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 看護師だけに頼らずそれぞれがいつもと違う変化に気づけている ミーティング、夕礼他で職員間の情報共有をしている 業務日誌に記入している 日々の関りの中でいつもと違うなど気付けるよう、表情 言動 バイタルなど注意深く観察している 体調変化に合わせて支援内容を変更できている
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 必要以上に手を出しすぎ保有能力を活かせていない 以前の暮らしが10個以上は把握できていない 日誌等で共有しているが変化を一部のスタッフしか把握できていない
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 初回面談時等で以前の暮らしなどを聞きとりスタッフと共有する（ライフサポートプラン）
---------------	---

事一

③

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	2024年1月
-----	---------

4. 地域での暮らしの支援

メンバー	山中 岸 井上 淡野 入本 丸山 橋内 太田 岩井 鈴木 山本 (11名)
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	3	7		11

前回の改善計画	どのような地域資源があるか話し合い、利用者に必要なことを話し合う
前回の改善計画に対する取組み結果	具体的な地域資源について話しはできなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		6	5		11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	4	6		11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	3	7		11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	2	7	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
百歳体操等利用可能な地域資源は活用できている 利用者の方を地域サロン「十四の会」に繋げることができた 地域の自治組織と連携して利用者の支援を行えた 利用者の趣味嗜好、昔の職場等の情報を集めている 独居の方など民生委員や地域の方からの情報交換ができており事業だけではわからないことも知ることができている 家族から話を聞くようにしている	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
情報が少ない方に対してどのように暮らしているか把握できていない どのような地域資源があるか把握できていない 生活に必要な地域資源がわからない 地域資源についてはケアマネや一部の人だけ知っている状況ではないか	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
スタッフ会議やカンファレンス時にその方の生活状況を伝え共有する	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024年1月
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	山中 岸 井上 淡野 入本 丸山 橋内 太田 岩井 鈴木 山本 (11名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	8	1		11

前回の改善計画	ボランティアの受け入れ、地域活動に参加する
前回の改善計画に対する取組み結果	ボランティア（傾聴 歌）の受け入れをはじめることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	8	1		11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	7			11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3	7	1		11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	4	7			11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域清掃活動に参加している 傾聴ボラ、トマトの会（歌）等来所してもらっている。 本人、家族の状況により訪問を増やしたり通いを変更し柔軟に対応できた 地域の様々な団体や活動に参加されている。また参加できるようプラン調整している	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
急遽宿泊が必要と思われる方にスタッフ不足により宿泊提供できなかった 記録の記入漏れや情報が記入してあっても読み忘れ、抜けがある 地域の100歳体操に参加できていない 地域資源の把握ができていない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ボランティアの受け入れを引き続き行い外部との交流をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024年1月
6. 連携・協働	メンバー	山中 岸 井上 淡野 入本 丸山 橋内 太田 岩井 鈴木 山本 (11名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	6	2	1	11

前回の改善計画	地域イベントが再開できれば積極的に参加する
前回の改善計画に対する取組み結果	地域イベントには参加できなかったが、秋祭りを開催した。ライブや模擬店、駄菓子などをし、たくさんの地域の方が来られた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	6	4		1	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	6	4		1	11
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	5	2	1	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	7	4			11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
気軽に訪れてくれる子供連れ家族がいる。 医療福祉会議に参加できた 看取りに関わった多事業との意見交換もできた 地域の方に「さんで一かふえ」に来ていただいた。 「秋祭り」に子ども～大人まで60人以上の方に来ていただいた。 地域の方に積極的に声をかけることができた 地域の方に挨拶し良い関係を作れるよう努めている 地域の子どもが事業所敷地で遊んでいる	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
外部からの訪問はまだまだ少なく、気軽に入りにくいという声を聴く サービス機関との会議内容がわからない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
さんで一かふえを開催し引き続き外部との交流をする。管理者中心であったがスタッフにも入ってもらい地域の方に顔が見てもらえるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	2024年1月
-----	---------

7. 運営

メンバー	山中 岸 井上 淡野 入本 丸山 橋内 太田 岩井 鈴木 山本 (11名)
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	4	5	1	11

前回の改善計画	地域行事が再開されれば参加し交流の場をつくる
前回の改善計画に対する取組み結果	清掃活動に参加できた（管理者のみ）

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2	3	6		11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	8			11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	7	1		11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	4	5	2		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
昼市に代わるイベント「秋祭り」を開催することができた スタッフとして意見を言える場ももってもらっている 地域の方が助けを求めて来られたのも日頃からの地域の方への声かけ（さんで一かふえ、秋祭りができているからと思う 秋祭りでは飲食ブースもあり子供から大人まで幅広い方の交流できる場になった 家族からの苦情はスタッフが共有できるようにしている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域行事の参加ができなかった 意見が言いにくい	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域行事の情報収集。スタッフの参加	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2024年1月
8. 質を向上するための取組み	メンバー	山中 岸 井上 淡野 入本 丸山 橋内 太田 岩井 鈴木 山本 (11名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	5	3	1	11

前回の改善計画	
必要な研修に参加できるようにする。 勉強会などスキルアップの場をもつ	
前回の改善計画に対する取組み結果	
法人として研修委員会が発足し研修の機会が増えた	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	5	3	1	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	3	5	11
③	地域連絡会に参加していますか	3	1	3	4	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	5	4		11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者に応じた介護技術を習得できた 法人としての研修も増え参加者が伝達研修も行えている 職場内研修に参加した 法定研修を研修委員が中心となり開催している 研修不参加時は資料や伝達講習で学ぶことができた	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
外部研修の参加ができなかった どんな外部研修があるかわからない スキルアップのための研修には参加できなかった	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
スキルアップや興味のある研修に参加する	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	7	1		11

前回の改善計画	
普段の話し方 スピーチロックをしていないかに気を付ける	
前回の改善計画に対する取組み結果	
スピーチロックに気をつけて行動できた。なれなれしく話すことがあった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	9	2			11
②	虐待は行われていない	10	1			11
③	プライバシーが守られている	6	5			11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	5	1	1	11
⑤	適正な個人情報の管理ができています	3	6	2		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
尊厳が守られた支援ができている 話し方に気をつけている 説明と同意を得るようにしている 立ち上がりの多い方はその都度寄り添いフロア内を一緒に歩いたり、傍で話を聞くようにしている 認知症の方には否定的な声かけはしないように気をつけている スピーチロックやプライバシーの配慮に気をつけた 身体拘束 虐待の研修を受けた	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
個人情報（日誌、排せつ表等）を出しっぱなしにしている時がある 利用者に聞こえる場所や音量で他利用者のことを話題にしている時がある トイレ時カーテンを閉め忘れるときがある 本人の思いにゆっくり耳を傾けられない時もある	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
トイレ、入浴介助時は介護者自身が利用者の立場であればと思い行動する。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	NPO法人 宅老所 心	代表者	村田 美穂子	法人・ 事業所 の特徴	利用者と地域の方がふれあいを持てるように、また地域の方に事業所のことを知っていただくために「秋祭り」を行っている。 また、日曜日には「さんでーかふえ」を行い地域の方の憩いの場になっている。 スタッフがオリジナルゲームを考え利用者と一緒に楽しんでいる、笑顔が絶えない事業所です。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護事業所ころね	管理者	山中 一矢		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	3 人	人	人	1 人	人	人	人	6 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	運営推進会議で取り組み状況を伝える	ころねとして行っていることを伝えることができた。	・小規模多機能の特徴を生かしスタッフ全員で共有しながら利用者の立場にたった介護に取り組んでいる。 ・情報共有、連携をしっかりと意識して運営していることがわかった。	事業所で行っていることを引き続き運営推進会議で伝える。
B. 事業所の しつらえ・環境	さんでーかふえを開催しているので宣伝方法を考える	利用を考えておられる方の第1歩としてカフェに誘い雰囲気を感じてもらった。	・スタッフの連携が見られ、明るく前向きにしていることが利用者に伝わる。 ・その人らしい暮らしの継続に向けて柔軟に対応していると思う。	訪問者が来られた時は気持ちよく全員が挨拶する。
C. 事業所と地域のかかわり	さんでーかふえや昼市のような地域の方と関係がもてる催しを開催する	はじめて秋祭りを開催した。バンド演奏、模擬店、駄菓子、雑貨販売をし地域の方に来てもらえた。	・秋祭りのイベントは良かったと思う。バンド、いろんな楽器演奏も良いと思う。 ・事業所と地域のかかわりもとても良くされていると感じた。 ・さんでーかふえ等で介護相談など地域の方に向けたイベントなどのコラボ企画を考えてもおもしろいのでは。	介護相談の日を設け、地域の方が来所しやすくする。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取り組み	利用者が地域の行事に参加できるようにする	100歳体操に数回参加。しかし参加される方が少なくなってきた。	・運営推進会議で利用者以外の近所の心配な方の相談もしている。その家族の方と前向きな話をすることができた。 ・地域の事業所として山田学区で開催される会議や民生委員との交流会にも積極的に参加しており頼りになる事業所であると感じている。	地域を交えた行事（かふえや祭り）を開催する。

E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で町会長、老人会会長、民生委員さんに意見を聞き事業所で出来ることを考える。	地域の方の困っていることなどを聞けた。ワンポイント介護として現場の取り組みを伝えた。	・運営推進会議で多方面の事業所、地域包括の方がおられるので、わからないこと、地域の方の困ったことなどを直接相談でき助かっている。 ・事例検討については地域課題を共に考える機会になる。次年度の取り組みとして検討してはどうか。 ・ワンポイント介護について普段体験することがない機会を提供され良い取り組みだと思う。	地域で困られている方の把握、地域と一緒に支える環境作りの検討をする。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練に参加する	事業所としてはできたが地域の防災訓練には参加できなかった。	・運営推進会議の中で防災訓練を見学する機会があればよいと思う。 ・この対策は今や大変重要なことだと感じている。日々の生活に追われがちだが必要性を感じて話し合い訓練をしておくことは大事だと思う。	地域の方が頼れるような防災拠点になれるようにする。

